

## 桜の新しい園芸品種「大磯小桜」の認定について

大磯町在住の齊藤廣昭氏（84）が、出身地である福島の家敷地内（備中足守藩分領瀬上陣屋跡）にある樹齢 300 年を超えるエドヒガン桜を大磯町でも咲かせようと、接ぎ木で苗木を育て、平成 16 年から大磯町内の公園や学校に植栽を始め、植栽場所の整地、周辺の除草や害虫駆除など、齊藤氏の日々の大変な尽力により、現在では 58 本の桜が植樹されています。

植栽した桜を育成していく中で、「桜の形状が元のエドヒガンと少し違うのでは」と感じ始めた齊藤氏は、平成 30 年度に（公財）日本花の会の「桜の園芸品種認定制度」に申請し（申請者は大磯町）、約 1 年間の認定検査の調査を経て、この度、令和 2 年 2 月 1 日に新たな桜の園芸品種「大磯小桜（オオイソコザクラ）」として認定されました。

命名にあたっては、齊藤氏の地元の大磯で「いつまでも地域に愛される桜になってもらいたい」という想いと、この桜の故郷である福島が東日本大震災で甚大な被害を受け、未だ復興が道半ばの中、「新たに園芸品種として認定されることが復興の一助になれば」という 2 つの想いが込められています。

- 1 認定名： 大磯小桜（オオイソコザクラ）
- 2 認定番号： 第 020 号
- 3 認定日： 令和 2 年 2 月 1 日
- 4 申請者： 大磯町
- 5 認定団体： 公益財団法人 日本花の会

### 【大磯小桜の特徴】

小さく可憐で枝に花が絡みつくように密生して咲くのが特徴

### 【現在の植樹場所及び本数（苗木含）】

大磯運動公園南側斜面（35 本）、星槎湘南大磯キャンパス駐車場（23 本）

